

- ◆企画名 見だおれ！食いだおれ！ディープな大阪再発見の旅！
 日程 2016年10月23日（日）
 場所 通天閣・じゃんじゃん横町・天王寺動物園
 参加者数 28名（ピア・サポータ4名、研修生6名、一般学生11名、留学生7名）
 目的

動物園や通天閣といった近くにあるにもかかわらずあまり立ち寄る機会のない大阪の観光地を散策することで、より深い大阪の雰囲気を味わいながら日本人学生と留学生の交流を促進する。また、通天閣の中にある日本の企業やアニメの展示を観覧し、留学生には日本の文化を知ってもらうことも目的とする。

内 容

- 9:20 参加者集合（関大前駅高架下）
 9:50 関大前駅発天下茶屋行乗車
 10:25 動物園前駅着
 10:40 通天閣着・チームごとに通天閣内の展示を見学
 12:30 じゃんじゃん横町にて昼食・各チームで店に入り食事をとる
 14:15 天王寺動物園新世界ゲートに集合・チーム替え・新チームでアイスブレイク
 14:30 動物園に入園・チームごとにアクティビティ
 16:30 天王寺動物園てんしばゲートに集合・終わりの挨拶・解散



効 果

- ・下町である天王寺周辺を自分の足で歩くことで、より大阪の雰囲気を感じられた。
- ・昼食やチームでのアクティビティを通し日本人学生と留学生の交流を促進した。

改 善 点

- ・書類が直前まで完成しなかったり、参加者への連絡が遅れたりと不手際が目立った。すべてを企画チームでこなそうとせず時には他のメンバーの手を借りることで、参加者へのスムーズな連絡を最優先にするべきであった。
- ・予定時間より大幅にずれていたため、参加者は事前に知らせていたタイムスケジュールと実際の動きが異なることを不安に感じた可能性がある。次の行動をこまめに参加者にも連絡することで、参加者の不安を取り除き楽しんでもらえるように工夫する。
- ・チームに分けて行動する際、日本人の参加者に加え日本人のスタッフがチームに入るため、留学生の割合が少なくなってしまった。日本人の参加者のニーズとしては留学生と交流したいというのが一番だと思われるため、留学生の参加を促す必要がある。次回の企画からは、募集の時点で留学生の人数を多めに設定するなど、当日の動きをイメージしながら募集人数を決定する必要がある。

感 想

企画の数日前から天候が不安定との予報だったので、急遽集合場所を変更するなど対応したが、当日はほとんど雨が降ることはなくすべての行程を行うことができた。新メンバーによる初企画ということで、ハプニングに備えて当日のスケジュールは充分にゆとりを持つようにした。しかし、予想以上に参加者が時間通りに集合し、出発の時点から大幅に予定が早まったため、以後のスケジュールも臨機応変に変更し余裕を持って進められた。

日本人学生の中には幼い頃に遠足で通天閣も動物園も訪れたことがある人が数名いたが、今回自分の足で歩くと記憶とはまた異なっていたようで楽しんでもらった。改善点は沢山あるものの、企画後に行った参加者へのアンケートの満足度はかなり高く嬉しく感じている。今後の企画でも今回の反省を生かし、日本人学生と留学生の両者が楽しめる企画を提案したい。